

事務連絡
令和2年10月19日

各〔都道府県
保健所設置市
特別区〕衛生主管部（局）御中

厚生労働省新型コロナウイルス感染症
対策推進本部

今冬の季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の試行的なサーベイランスの研究に関する応募について（協力依頼）

平素より、季節性インフルエンザに係る感染症発生動向調査（インフルエンザ定点）に多大なご協力・ご尽力を頂きありがとうございます。季節性インフルエンザ患者の発生動向については全国約 5,000 箇所の定点医療機関から報告頂いている一方、新型コロナウイルス感染症患者については指定感染症として全数の報告を頂いているところです。季節性インフルエンザの流行期においては、発熱等の臨床所見のみでは季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症のいずれか区別ができない患者が多数発生することが懸念されています。上記の通りインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の患者数をそれぞれ報告頂いているものの、いずれかの感染症を疑う発熱等の症状を有する患者のうち、インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症である実際の陽性患者の割合は不明であることから、地域におけるそれぞれの疾患の流行状況を推測することが難しくなっています。このことは、臨床現場において、発熱患者等におけるそれぞれの疾患の検査前確率の推測が難しくなることにもつながり、地域で適切に検査を実施するに当たって課題となる可能性があります。

今般、研究班（※1）では、三重県において 72 箇所のインフルエンザ定点医療機関等の協力を得て、臨床症状から季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症を疑う患者における季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の陽性患者の割合等を計測し、発熱等の症状で受診した患者における季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の検査前確率の評価をするためのサーベイランスの有用性を検証する試みが始まりました。

また、令和2年10月9日に開催された第48回厚生労働省厚生科学審議会感染症部会において、三重県における本取組を、研究班（※2）の技術的支援の下、他の自治体でも試験的に実施することについて賛同いただきました。

つきましては、このサーベイランスの取組を試験的に実施する自治体を応募いたしますので、別紙を確認の上、御検討・御参加の程よろしくお願いたします。

※1 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「マスクギャザリング時や新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究」（研究代表者：島田智恵）の分担研究

※2 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネジメントに資する感染症のリスク評価及び公衆衛生的対策の強化のため研究」（研究代表者：谷口清洲）

季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の試行的なサーベイランス研究の事業内容と応募方法について

1. 応募方法等について

- ・ 日程：令和2年10月23日（金）まで応募を受け付けます。協力意向のある自治体については、下記の照会先までご連絡の程お願いいたします。その後、厚生労働省及び研究班と連携・調整しながら準備を行い、令和2年11月初旬～中旬から、サーベイランスを試験的に実施することを目指します。
- ・ 募集単位：都道府県、保健所設置市又は特別区（都道府県等でとりまとめていただく必要はございません。）
- ・ 募集自治体数：5～10団体程度を想定。

照会先：

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部戦略班 岡

Tel: 03-3595-3489

Mail: oka-kuniko.2e5@mhlw.go.jp

2. 協力自治体の役割について

- ・ 管内のインフルエンザ定点医療機関に対し、下記3.の「協力医療機関の役割について」を周知し、今般のサーベイランスの実施について協力をいただけるよう合意を得ていただく。なお、協力いただく医療機関については、全てのインフルエンザ定点医療機関であることが望ましいが、感染症指定医療機関など拠点病院に限った協力でもかまいません。（参考：三重県で使用したインフルエンザ定点医療機関宛ての事務連絡）
- ・ 研究班（※2）と相談の上、下記のいずれかの方法でデータの収集・解析を行う。（期間中に切り替えることも可）
 - ① 協力医療機関を研究班（※2）に紹介し、当該医療機関からデータが研究班に提出されるよう調整を行う。データは、当該研究班において解析され、自治体及び医療機関へフィードバックされる。
 - ② 研究班（※2）の技術的支援を受けながら、自治体が独自に医療機関からデータを収集し、解析した後に医療機関へフィードバックする。（三重県の場合、三重県感染症情報センターが実施）

3. 協力医療機関の役割について

- ・ 以下の項目について報告様式に記載し、週報としてExcel、FAX等で送

付。送付方法は別途調整いただくことになり、報告項目に個人情報は一切含まれません。

(指標)

別添様式例（三重県使用）に基づき、以下の項目のデータを提出する。

- ① インフルエンザの年齢群別・性別患者数（通常の枠組みと同様）：症状からインフルエンザと診断できる患者、迅速診断キット施行の有無については問わない。
- ② コロナ様疾患年齢群別患者数：上気道炎と診断できる患者でインフルエンザとは思われない症例、コロナ様の嗅覚・味覚障害のある患者を含む、発熱の有無は問わない。検査の有無は問わない。
- ③ インフルエンザ迅速診断キット施行数、陽性数、陰性数
- ④ 新型コロナウイルス検査施行数、陽性数、陰性数、結果待ち数（自施設、地区 PCR センター、保環研、民間検査施設を問わない）。陽性であれば、別途保健所に届出。

(参考) 研究班又は自治体で解析する内容

- ① インフルエンザ様疾患（※1）におけるインフルエンザ陽性率（＝インフルエンザ迅速検査陽性者数／インフルエンザ迅速検査施行数）
- ② インフルエンザ様疾患における新型コロナウイルス陽性率（＝新型コロナウイルス検査陽性者数／新型コロナウイルス検査施行数）
- ③ 新型コロナウイルス様疾患（※2）におけるインフルエンザ陽性率（＝インフルエンザ迅速検査陽性者数／インフルエンザ迅速検査施行数）
- ④ 新型コロナウイルス様疾患における新型コロナウイルス陽性率（＝新型コロナウイルス検査陽性者数／新型コロナウイルス検査施行数）
- ⑤ 新型コロナウイルス鑑別対象患者数（＝インフルエンザ様疾患＋新型コロナウイルス様疾患）
- ⑥ 新型コロナウイルス鑑別対象患者数におけるインフルエンザ陽性率（＝インフルエンザ迅速検査陽性者数／（インフルエンザ様疾患＋新型コロナウイルス様疾患のうち検査施行数））
- ⑦ 新型コロナウイルス鑑別対象患者数における新型コロナウイルス陽性率（＝新型コロナウイルス検査陽性者／（インフルエンザ様疾患＋新型コロナウイルス様疾患のうち検査施行数））

※1 インフルエンザ様疾患：突然の発症、高熱、上気道炎症状、全身倦怠感等の全身症状

※2 新型コロナウイルス様疾患：インフルエンザ様疾患以外の上気道炎（発熱の有無は問わない）又は味覚・嗅覚障害